



榛の木材資料館から見た富士山

大人の社会見学 文化部主催
7月2日(水)

おしのはっかい 忍野八海 ～富士山を学ぶ～

富士山の伏流水に水源を発する代表的な湧水池「忍野八海」に行ってきました。

7月2日(水)朝8時、大型バスに乗りワクワクしながらさあ出発！天気は雨も心配していましたが、現地に着くと晴れてきて富士山がくっきり見えていました。

富士山に降り積もる雪解け水が数十年の歳月をかけて濾過され、澄み切った水は冷たく、湧きだした水はとうとうと流れる川にそそぎ込まれています。この湧水が最後には、相模湾に流れ込むと聞いて身近に感じました。散策路を歩きながら8つの池を巡り、地元グルメを味わい、富士山の絶景を楽しみました。

富士山レーダードーム館では、富士山頂で35年間気象観測の役割をはたしたレーダー建設の歴史や気象観測を学び、-8℃、風速13mという実際の山頂の過酷な環境を体験しました。現在は人工衛星やAIによる天気予報が活躍していますが、日本で一番高い場所から数々の台風を察知し災害防止に役立ってきたその仕事に携わってこられた皆様のご苦労がしのばれました。

ふじさんミュージアムは富士山のお膝元富士吉田市にある歴史民俗博物館で、富士山にまつわるあれこれ学びました。

世界遺産富士山の一部の忍野八海は、外国の方々がいっぱい！世界の人々が楽しみに来られていてびっくりしました。

(町田ハイツB 清水)



富士山レーダードーム館



鏡池と富士山

賑わいの湧池

わんぱくチャレンジ①

公民館が中華街に？料理にチャレンジ

青少年部主催 6月22日(日)

6月だというのに真夏のようなこの日、パティシエの今井奈津子さんを講師に迎え、今年は肉まんづくりにチャレンジしました。

参加者は15人、4班に分かれて作業開始。まずは生地をこねオープンで発酵させます。その間に具の製作。豚挽き肉に玉ねぎと調味料を加えコネコネ。これは班ごとに分担して作りました。

発酵した生地を延ばし、先生にコツを聞きながらみんなで包みます。そして蒸し器で蒸しあげて完成！！最後はみんなで試食会。料理実習室においしい笑顔があふれました。
(谷口 河口)



パパと一緒に、ときどきママも

理科実験「水のふしぎ」-空・雲・虹-

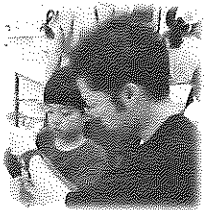
7月19日(土)



講師
谷口児童館館長
金田宏仁さん



小1～3年の児童と保護者を対象にした理科実験。午前、午後各16組の募集に98組もの応募があったそうです。スライドで説明を受け、試験管やペットボトルを使った実験をしていきます。スライドは子どもにはちょっと難しかったようで、大人のほうが真剣です。



ペットボトルで雲を作る実験では、子どもたちが楽しそうに何度も実験をしていました。白い水を入れたペットボトルに懐中電灯の光をあてる向きを変えると、日中の青い空と夕方のオレンジ色の空を見ることができました。ほかに虹のように光を分ける実験などであっという間に時間が過ぎました。家でも実験をしたり自分でも調べたりしたら、さらに楽しそうですね。
(館報編集委員 小林)



お湯(赤)は上に
水(青)は下に

木工教室

8月23日(土)

皆さんは「宮大工」って知っていますか？神社や仏閣を専門に建てたり、修理をする大工さんのことです。そのような高度な技術や経験を持った宮大工の方々が、子どもたちのために上鶴間公民館にやってきました。

8月23日、上鶴間公民館区内4つの小学校の1年生から3年生の親子24組が午前と午後に12組ずつに分かれて「木の宝箱」の工作にチャレンジしました。

講師は昨年もお世話になった、一般社団法人さがみ湖 森・モノづくり研究所(MORIMO)の代表淵上さん、そして宮大工の棟梁市川さんと寺田さんです。

底板の大きさに合わせ、枠になる板の長さを計り、さらに枠を組んだ時に直角になるようにアドバイスを受け、ノコギリで45°に切り落とし、安全にそして正確に材料が加工されて行きます。

材料がそろったところでいよいよ組み立てです。45°にカットした枠板の切り口をあわせ、キリで下穴をあけたら釘を打って枠を組み立てます。周りから笑い声が聞こえ和やかな雰囲気の中、1時間30分位で別に用意された仕切り板をはめ込み「木の宝箱」が完成しました。

その後、宮大工の弟子入り体験と称し普段仕事で使っているカンナで、ヒノキの角材を削る体験をしました。市川さんが見本を見せると、紙より薄く削られたヒノキに、皆さん匠の技に感動。お子さんやお父さんお母さんも本物の道具に触れることができて楽しそうでした。

宮大工の技術は約1400年前に聖徳太子により伝承され始めました。そんな高い技術を持っている宮大工の皆さんと「木の宝箱」製作を通して触れ合うことができて貴重な体験になったことと思います。

私も取材をしながらかなり楽しんでいた1日でした。

(館報編集委員 本橋)



在宅介護のノウハウ

文化部主催 8月30日(土)

在宅介護、長く続けるには...

8月30日(土)午前10時より、上鶴間公民館にて、今年度2回目の文化講座として、「在宅介護のノウハウ」が開かれました。日々のニュースで、聞かないことはない「高齢化社会」「介護」等の言葉・・・そんな中で、これからの生活に役立ててもらえたらという思いで企画されました。

公民館区内にある「セントケアまいん相模大野」の金子弘未さんをはじめ、ヘルパーさんや訪問看護師の方々9人が講師として、ベッド、車椅子、手すり等を持参、明るくテキパキと進めてくださいました。

猛暑が続いている中ですが、25名の参加者があり和やかな雰囲気の中、朝の10時からの2時間があっという間に過ぎました。

まずは、介護ベッドの機能の説明を受け実際に寝てみました。要介護者の起き上がりや、車椅子への移乗等を講師の指導を受け、ただ、話を聞くだけではない体験を多くできたのも有意義でした。

また、実際に介護器具を借りたり、訪問看護師さんをお願いしたりするにはどうするのか、階段を下りるときの付き添い方は?といった具体的な質問も出て、講座終了後のアンケートにも、「とても勉強になった」「今後の生活に役にたつ」といった意見が多く寄せられました。

「介護者がつらいと、要介護者もつらくなる」と講師の先生が言われた言葉通り、今後、少しでも楽に介護が続けられるように、今日学んだことを生かしていきたいと思いました。

(文化部 高橋)



まちの話題

91

歩け歩け大会

南新町 7月13日(日)



毎年恒例の歩け歩け大会。

今年は、奥多摩湖方面へ。

お天気も少し心配されましたが、

『水と緑のふれあいの館』では、みんなで3Dメガネをかけてシアターの映像で自然の恵みを学びました。その後、関東のダム100選の奥多摩湖畔を散策しました。正式名称は『小河内(おごうち)ダム』で、水力発電施設も併設されているため、人々のライフラインになくてはならない場所となっています。野生のサルとシカにも遭遇でき、自然を満喫しました。

お昼ごはんはBBQ。たくさん歩いた子どもたちはお腹を空かせながらも、石窯ピザ作り体験をしました。熱々のとろりとしたチーズがまた格別でした!焼きそばやマッシュマロもみんなで焼きながら、たくさん食べてたくさんお話しして、スイカ割りも川遊びもしました。夏休み前ですが、盛りだくさんの内容でとてもいい思い出ができました。

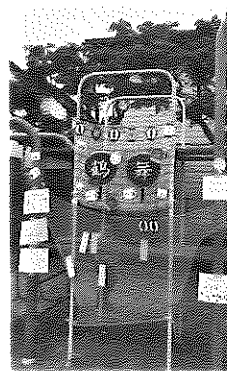
(南新町 川原)

第8回鶴舞まつり

鶴舞 7月12日(土)



7月12日(土)、深堀公園において「第8回鶴舞まつり」が開催されました。2015年に、見守り強化対策と地域住民の交流を目的として、「無料で楽しめるビアガーデン&手持ち花火大会」を計画し、スタートしました。当初は、男性ボランティアの「イクメン会(域MEN会)」と鶴舞自治会役員が連携し開催。現在は、女性ボランティアも参加しています。今年は300名の参加があり、手作りゲームや模擬店も大好評。大人は楽しく飲んで交流を深め、子ども達も手持ち花火をやり、盛り上がりの中、無事終了。皆が、夏の楽しい思い出となりました。(鶴舞 飯島)



館長のつぶやき：爽秋に向って体を動かそう



共同募金2025

地域版

神奈川県共同募金会
相模原市支会
(社会福祉法人相模原市社会福祉協議会内)
相模原市中央区富士見6-1-20
あじさい会館内

電話 042-730-3888
Fax 042-759-4382

さがみはらだより



共同募金PR大使
野毛山動物園の
ミナミコアリクイ「ムム」

**10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。
今年も皆さまのご協力をお願いいたします。**

(募金運動期間:10月1日~3月31日)



昨年、皆さまからお寄せいただいた寄付金は下記のとおり配分され、
地域の社会福祉施設の整備や相模原市民が取り組む地域福祉活動に活用されています。
温かいご支援ありがとうございました。

令和6年度にお寄せいただいた共同募金寄付金総額 **39,296,933円**

総額は赤い羽根募金と年末たすけあい募金を合計した金額です。



赤い羽根募金のつかいみち

配分総額 **26,908,714円**

◎社会福祉施設の整備や福祉サービス実施のために (21,510,879円)

市内の施設や団体へ 計11件

- ・施設整備工事や事業活動車両の購入など
- ・在宅福祉サービス実施団体への支援

県共同募金会を通じて配分

- ・県内の社会福祉施設・団体へ
- ・災害準備金として積み立て
- ・事務費など

◎地区社会福祉協議会の活動や障がい者の支援のために(市社会福祉協議会事業) (5,397,835円)

- ・市内22地区社会福祉協議会への活動助成
- ・ふれあいデイホーム(在宅障がい者昼間一時ケア事業)

年末たすけあい募金のつかいみち

配分総額 **12,388,219円**

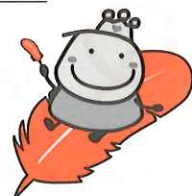
◎生活困窮者を支援する活動を行う団体への助成 (就労準備支援・社会参加の場づくり・フードバンクなど)

◎生活困窮者への食料品等の給付 など

相模原市社会福祉協議会(市社協)とは?

社会福祉法に基づき、全国の市町村に設置されている地域福祉の推進を目的にした民間の福祉団体です。

市社協は、県共同募金会相模原市支会の事務局として、地区社協、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、行政等の協力を得て募金活動を行っています。



地区社会福祉協議会(地区社協)とは?

相模原市内22地区に組織され、自治会や民生委員・児童委員、ボランティア等により構成する小地域の支えあい活動を推進する住民団体です。共同募金は、地区社協活動の貴重な財源にもなっています。

共同募金の配分金を次のような事業に活用しています



▲福祉教育を通してみんなで支えあえる地域を目指します



▲地区社協事業活動の様子
地域の困りごとを支援します



▲子ども食堂の活動の様子
食を通じた人の輪を広げます



▲生活にお困りの方への食料支援活動の様子

募金は、皆さまの任意です。

共同募金は、事前に社会福祉施設や市社会福祉協議会などの活動に必要とする資金計画に基づき行う計画募金です。計画により、目標額を定めていますが、強制ではありません。募金は、皆さまの任意によるご寄付としてご協力をお願いしています。



10月1日から赤い羽根募金が始まります。

令和7年度の全国共通テーマは

「つながりをたやさない社会づくり」
です。

ことしで79回目を迎える共同募金運動は、住民一人ひとりが地域社会とつながり支え合いながら、安心して生活していくための「地域共生社会」を実現していくため、県内の地域福祉の推進とともに、緊急的な対応が求められている社会的な課題や国内大規模災害時の支援事業にも積極的に取り組んでまいります。



共同募金ってなに？

共同募金は、民間が行う寄付金募集として、毎年、厚生労働大臣の告示により実施する「たすけあい」の運動です。

戦後復興の一助となることを目的として始まり、現在では皆さまがお住まいの地域のさまざまな福祉活動に役立てられています。

皆さまの善意を適正に取り扱うために、寄付金の募集や配分方法などが「社会福祉法」で定められています。



共同募金って何に使われるの？

募金の7割は、あなたの町の高齢者や障がい者の家事援助や配食サービス、子育て支援などのボランティア活動などに役立てられています。

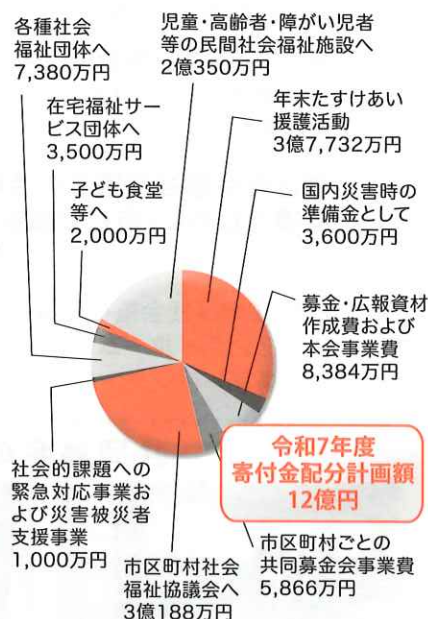
募金の3割は、児童養護施設の遊具や障がい者施設の福祉車両の整備をはじめ、生活困窮者への食支援活動や国内大規模災害時の災害ボランティア活動にも役立てられています。



募金なのに、 どうして目標額があるの？

地域福祉を進めるために、活動資金をあらかじめ把握して、計画的に募金を行うことが「社会福祉法」で定められています。

募金は任意ですが、地域福祉を資金面で支えていくためにご協力をお願いします。



「令和7年度の目標額は
12億円」

税制の特典があります！

- ◎共同募金への寄付金は、法人税や個人所得税（所得控除または税額控除）等の税制優遇の対象となります。
- ◎共同募金への遺贈寄付は、租税特別措置法第70条による税制優遇措置があります。

- 共同募金の使途は、「はねっと」で公開しています。 <https://www.akaihane.or.jp/hanett>
- 寄付のご相談・ご照会は、社会福祉法人神奈川県共同募金会までご連絡ください。
〒221-0825 横浜市中区神奈川反町3丁目17番2 神奈川県社会福祉センター 6階
電話 045-312-6339

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

